

令和 6 年度

2024.4.22

さくらさくみらい保育園年長児保護者会 ～保護者の皆様からの質問に答えて～

中根橋小学校 校長

年長児保護者会にお招きいただき、今年で3年目となります。最初の年の子どもたちは、2年生となり、元気に学校生活を過ごしています。

今年は、園長先生が保護者から寄せられた質問を事前にFAXで送っていただきました。全部にお答えするには時間が足りなくなると思います。そこで、今年の2月に大山保育園でお話したことと重なるところは、お配りしたプリントをご覧くださいと思います。

Q：食べ物の好き嫌いを直した方がよいですか。

A：皆様はどう思われますか。「食べ物の好き嫌いを直した方がよいと思う方は、手を挙げてください。」…手が挙がらない。「そうは思わない方は、いらっしゃいますか。」…5～6人が挙手をする。はい、私と同じ考えの方が多いです。私は食べ物の好き嫌いを直した方がよいとは考えてはいません。

小学校に上がる お子さんに対して、「○○ができないと1年生にはなれないよ。」と言葉をかけることがよく見られますが、それはかえって逆効果です。食べ物の好き嫌いも同じだと思います。例えば「人参が食べられないと小学校に入れないよ。」と言われたら、学校というものは厳しいところ、大変なところだと感じることでしょ

う。

小学校入学に際して食べ物の好き嫌いを直す必要はありません。学校ではいろいろな食材が出ます。みんなと一緒に食べられることも往々にしてあります。どうしても食べられないものは、残せばいいのです。ある時から自然に食べられることもあります。食べ物の好き嫌いは自然に任せればよいと私は思っています。

Q：生活リズムの見直しは必要ですか。

A：ご質問の中に、「今は昼寝もあるので寝る時間が遅めです。」と記されています。保育園では昼寝があるのでどうしても寝る時間が遅くなるのは仕方ありません。小学校に入ると、昼寝はもちろんありませんから、お子さんが眠くなる時間が早くなると思います。

睡眠時間は、1年生なら10時間は確保してあげるのが理想です。よく「早寝早起き」と言いますが、「早起き早寝」がよいです。それは、早く起きようになれば自然と早く眠くなるからです。

睡眠時間は心の安定に直結します。お子さんが遅くとも9時には寝るように大人の生活時間を見直して、家庭環境を整えることも有効です。

Q：近隣の小学校を見学する機会がありますか。

A：本校では6月の第3土曜日の授業プ

ランで年長さんを対象に学校見学会を予定しています。今年は参加型の見学会を考えています。例えば プログラミング ロボットを使っての遊びとかを2年の子供たちに担当させようと思っています。他校については直接その学校に問い合わせさせていただければ幸いです。

Q：ランドセルの購入のルールはありますか。ランドセル以外での通学は可能ですか。

A：ランドセルのきまりはありません。今は色とりどりのランドセルが教室のロッカーに並んでいます。また、必ずしもランドセルで学校に来なければいけないという決まり也没有ありません。望ましいのは背負えるカバンで、ロッカーに収まるランドセルとほぼ同じぐらいの大きさのものが望ましいです。

Q：うちの子は落ち着きがありません。先生はどのように対応していただけるのでしょうか。

A：まず大切なことは、保護者が自分のお子さんの特性を知ってほしいです。どういう時、どういう場面で落ち着きがなくなるかを掴んで欲しいと思います。逆にどんな時には集中できるのかも大切な情報です。それをもとに入学までにお子さんの環境を意識的に整理することが有効だと思います。音に敏感なのか視覚的な刺激に弱いのか。一番よいのは物事をできるだけシンプルにしてあげることです。子供は動くものに興味関心が向きやすいです。テレビやモニターを消し、絵本の読み聞かせなどでゆったりと親子で場面を考えたり、お話を味わったりすると心が落ち着きます。

今の世の中は、ゲームやYouTubeな

ど刺激がいっぱいです。それに長時間接していれば、大人だって落ち着かなくなります。リアルな世界が大切です。中板橋商店街で一緒にお買い物をしたりするのもいいですね。

そのような取り組みをしてもなお、小学校での生活に不安がある場合には、保育園や就学時検診等でご相談ください。発達障害の心配がある場合には、専門の機関で相談することも大切です。東京都の各小学校では特別支援教室があり、週2時間の個別や集団の指導を行っています。小学校では集団での学習や生活が基本です。年長児としての保育園での体験は1年生へとつながるはずで、ですからこの1年間を大切にしてほしいと思います。

Q：いじめや孤立しないかが心配です。どうしたらよいですか。

A：いじめは大人の社会でもあるし、どの教室でも起こる可能性はあります。しかし、思いやる心が育つようになっていくと自然といじめは起こりにくくなります。

どちらかと言うと、いじめている方はいじめているという感覚がないことが多いです。学校では不適切な言葉や関わりをその都度、指導していきます。家でお子さんが学校で嫌な思いをしていたら、ご遠慮なくご相談ください。いじめの解消に学校をあげて対応していきたいと考えています。

Q：入学したら iPad や パソコンなどの支給があるのでしょうか。

A：日本中の小中学生に1人1台のタブレットが配布されています。板橋区ではChromebookを全員に渡していて授業や家庭学習で活用しています。タブレットは支給ではなく貸与です。学校卒業する時

にはお戻ししていただくことになっていきます。

Q：学童に行く予定ですが、小学校側で下校時のサポートはしていただけるのでしょうか。

A：学童のことを板橋区では「あいキッズ」と呼んでいます。各学校にはあいキッズがあり、教室からそのあいキッズに行けます。1年生の最初の頃は、あいキッズの先生が学校の玄関まで迎えに来てくれます。アイキッズの先生は一人一人のお子さんを確認してアイキッズまで連れていってくれます。慣れてくると自分たちで行けるようになります。

Q：キッズ携帯は持たせても大丈夫ですか。子供用スマホやGPSを持たせるにあたり何か制限がありますか。

A：学習に必要なものは学校に持ち込まないという原則があります。そのため、本校では携帯の持ち込みは認めておりません。どうしてもという場合にはGPSは許可していますが、盗難や紛失等の一切の責任は保護者が負っていただくことが条件です。防犯ブザーは板橋区からお子様一人一人に貸与され、返却の必要はありません。